

広報 大洲

No.46

— おおず —

きらめき創造 大洲市
—みとめあい ささえあう 肱川流域都市—



映画「ぼくのおばあちゃん」が完成しました。11月1日(土)から大洲シネマサンシャインで上映されます。みなさん是非ご覧ください。(4ページに記事掲載)

11
2008

平成20年11月号

- ☆9月定例会市議会 P2~3
- ☆デジタル放送についてのお知らせ P4
- ☆入札参加資格審査申請書のお知らせ P7
- ☆大洲市中学生海外派遣事業 P8~12
- ☆こんにちは市長です P13
- ☆各種イベントのお知らせ P16~17

発行/大洲市役所 編集/総務課
〒795-8601 大洲市大洲690-1 ☎ 24-2111
大洲市公式ホームページ <http://www.city.ozu.ehime.jp>

PRINTED WITH SOYINK
広報おおずは、環境に配慮し、再生紙及び大豆インキを使用しています。

「市民の皆様の声に耳を傾け

『選択と集中』の基本方針を堅持します」

平成20年第3回大洲市議会定例会が、9月11日(木)から26日(金)までの16日間の会期で開かれました。今回の議会では、平成20年度大洲市一般会計補正予算などの予算関係4件、大洲市職員倫理条例の制定などの条例関係6件、人事案件1件、愛媛県市町総合事務組合規約変更などその他3件のあわせて14議案がいずれも原案のとおり可決、承認され、また陳情1件が審議されました。

市長の議案提案内容(要旨)



我が国の政治情勢は、まさに国民不在の混沌とした様相を見せており、景気の動向も内閣府の8月の月例経済報告によれば、「景気は、このところ弱含み」という、これまでとは流れが変わる「景気後退」をおおむね表現が使われており、

そもそも地方においては実感できなかつた景気回復という局面が、首相の突然の辞任表明により経済政策の停滞から、さらに負の方向へ向かうことは、地方経済にかかわるものとして許されないとだ

と思うのです。首相の辞任表明以来、早期の衆院解散・総選挙といったニュースが流れていますが、年金、医療そして地域格差の問題など、喫緊の課題が山積しているなか、本来は総選挙などで政治空白を生じさせ

ている場合ではないと思うのです。不安定な日本の政権が国際的信用をなくし、ひいては、国益の大きな損失に繋がりがかねない事態を憂えるものです。

総務省が7月31日に公表した人口調査によりみると、少子高齢化の進展と首都圏や自動車関連産業など雇用吸収力の高い地域への人口流入が続き、地方の人口減少が加速している実態が改めて浮き彫りとなりました。人口減少と高齢化という社会環境の中で、地域活力アップのためには高齢者の社会参加が重要なポイントの一つになるものと考えますが、それをどのように促していけばよいのか、効果的な方策の立案に頭を悩ますところ

です。平成の大合併が一段落し、このところ、地方分権改革の総仕上げとして、繁栄拠点の多極化と、日本全体の活性化、住民本意の地域づくりなどを目的とした「道州制」への移行に関する議論が高まってきました。私も、県市長会の副会長として、8月に松山市で開催された道州制シンポジウムに参加し、意見発表をさせていただきました。東京一極集中の抑制のためには道州制への移行は避けて通れないものの、それが中央集権の単なる手助けに終

衛生費

○小児救急医療当番医制の導入を支援します。
39万円

農林水産業費

○漁船が安全に航行できるよう、出海漁港の浚渫を行います。
171万円

教育費

○新耐震基準施行以前に建築確認がされた学校施設の耐震化対策を行います。
342万円

総務費

○地上デジタル放送の難視聴地域解消を図るため、自主共聴施設を管理する組合に受信に対応する経費の一部を支援します。
707万円

民生費

○大洲市次世代育成支援地域行動計画を定め、取り組んでいます。平成22年度からの後期5カ年計画の策定に向け、現計画に対する実績評価と、方向性の検討を行います。
100万円

9月定例市議会



わるような制度であつてはならないと思つています。今後国民的な議論をもつとつと深めていく努力が必要であると考えています。

市政におきましては、議員各位をはじめ、市民の皆様方の温かいご理解とご支援を賜り、懸案の事業が迅速ながら前進しておりますことは、事業の選択と集中という基本方針を貫くことができたお陰と心から感謝を申し上げます。引き続き市民の皆様方の声に耳を傾け、事業を推進して行きたいと考えています。

地上デジタル放送 難視聴地域の解消

地形的条件により受信画質が劣化している地域に設置さ

れている自主共聴施設を管理する組合に対し、地上デジタル放送受信に対応する経費の一部を補助します。

次代を担う子どもたちのために

現在大洲市では、「大洲市次世代育成支援地域行動計画」を定め、取り組みを進めています。平成22年度からの後期5か年計画の策定に向け、現在の計画に対する実績評価と方向性の検討を行います。

救急医療の体制を維持するために

特に地方においては、医師不足により救急医療の体制維持が困難になっております。喜多医師会が実施する在宅当番医師および救急医の医師確保を支援します。

県内一の生産量を誇る 「くまの産地育成を図ります」

愛媛県が開発した環境微生物を活用した良質堆肥による高品質生産の実証と流通・販路の開拓調査を行います。

漁船の安全な航行のために

本市水産業の拠点の一つである長浜の出海漁港は、港の出入り口に土砂が堆積し、漁船の航行に支障を来していることから、浚渫を行ないます。

計画的な安全安心の 教育環境整備

昭和56年の新耐震基準施行以前に建築された学校施設の耐震化に、計画的に取り組みます。

財政の健全化に向けて

行財政の健全化を目的として、大洲市行政改革大綱に基づく集中改革プランおよび公債費負担適正化に取り組みます。引き続き健全な財政運営ができるよう努めます。

補正予算の概要

本年度より、予算編成の効率化および集中化を図るため、事業予算は可能な限り当初予算に計上してまいります。一般会計補正予算の補正額は、1576万9千円の減額です。これにより本年度の一般会計予算総額は、235億5720万8千円で、前年度同期予算と比較すると6億2065万円、2.6%の減となっております。

議会の同意・推薦を受けた人 (敬称略)

人権擁護委員候補者
松岡 昇平【成能】

応援してください！

ふるさと納税制度をご存じですか？

●制度の内容

ふるさと納税制度は、自分の出身地の自治体などに対し寄付という形で応援することができ、平成20年の地方税法改正により導入されました。

●確定申告などにより税の控除が受けられます

大洲市に寄付をされた場合、その寄付金額のうち5千円を超える額について、個人住民税所得割額の概ね1割を上限として、現在お住まいの場所でお納めする所得税や個人住民税から控除されます。

●寄付の使い道

大洲市では、多くの皆さんからご支援いただけるよう、総合計画に基づいた5つの政策メニューを設定し、自分が貢献したいと思う事業を選ん

でいただけるようにしています。寄付金はお選びいただいた事業において、大切に使用させていただきます。

●お願い

市外や県外にお住まいのご家族、お知り合いの方々に、ふるさと納税制度をご紹介いただきますようお願いいたします。

なお、寄付を頂いた方については、大洲城や歌麿館の無料観覧券などをお送りすることになっています。

寄付の方法など詳細については、左記までお気軽にお問い合わせください。また大洲市公式ホームページでも、ご覧頂けます。

大洲市公式ホームページ
↓
くらしの情報 ↓ 税金 ↓ ふるさと納税
【問い合わせ先】

市役所企画調整課
☎2111 (内線523)



政策メニュー

- 1 肱川との共生に関する事業
- 2 子どもの未来に関する事業
- 3 文化創造に関する事業
- 4 健康・安心の福祉に関する事業
- 5 地域の力と活気創造に関する事業